

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ●京丹波

広報 | 京丹波

NO.126

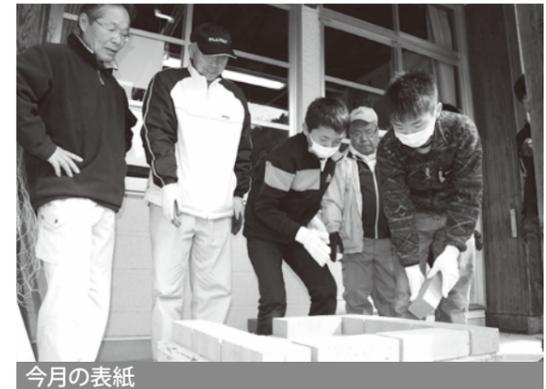
2016年4月15日発行

4月号

地域と共に育ち
学び舎を巣立つ



特集 予算



今月の表紙
竹野小の平成27年度卒業生5人が、地元竹野活性化委員会のメンバーらと卒業制作として、パン窯作りに取り組みました。

【特集】平成28年度 予算

平成二十八年当初步算が三月の議会定例会で可決され、成立しました。予算総額は二〇八億四、三三〇万円（二万円未満四捨五入、以下同じ）。内訳は、一般会計が二五億二、〇七〇万円、特別会計が九十三億二、二六〇万円、財産区会計除くです。

一般会計は、「安心・活力・愛のあるまちづくりの推進」と「京丹波町創生戦略の推進」、「財政健全化の推進」の三つを大きな柱として、人にやさしいまちづくりを推進するための予算編成を行い、一般会計では、過去四番目の予算規模となりました。

予算には、「安心」「活力」「愛」のあるまちづくりをより確かなものとするため、さまざまな事業を盛り込んでいます。

一般会計 歳入

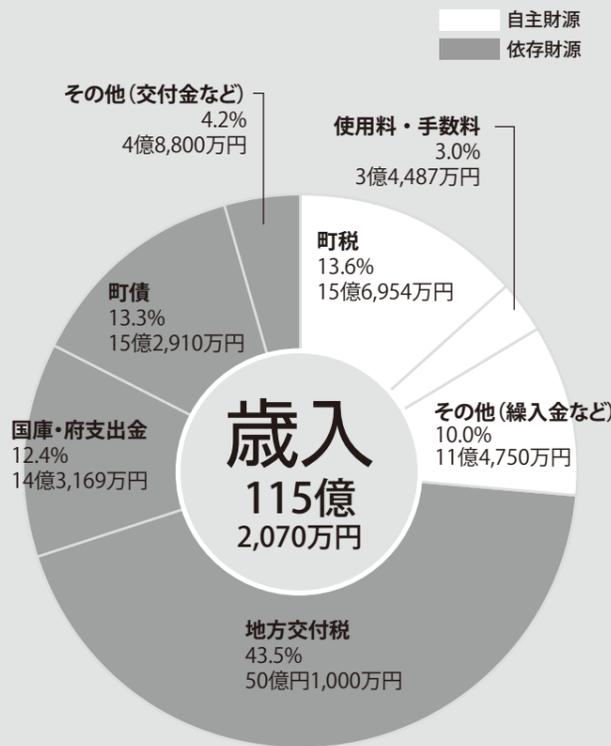
には、町税など町が自らの力で収入できるお金（自主財源）と、国や府から交付されたり、割り当てられたり

するお金（依存財源）があります。グラフのとおり、自主財源は歳入全体の二六・六％で、残りの七三・四％は国・府支出金（負担・補助・委託金）や町債（借入金）などの依存財源に頼っている状況です。自主財源の柱である町税は二五億六、九五四万円を計上。景気の伸びは、ほぼ横ばい状況であり、また、本町における総所得の伸びや地価の状況についても、依然としてマイナス基調で推移していることなどから、大幅な増収は見込めず、前年度と比べ一、五八九万円減額しています。

一方、依存財源の中で最大の収入源である地方交付税は五十億二、〇〇〇万円を計上。合併から十年が過ぎ、特例措置の段階的縮減が開始されることから、前年度と比べ九、〇〇〇万円を減額しました。また、国・府支出金を十四億三、一六九万円、町債を二五億二、九一〇万円としています。

将来への投資に向けて必要となる投資的事業の実施のため、基金などからの繰入金や交付税算入の高い有利な地方債を活用しています。また、新規発行債を抑制することで、公債費負担の適正化に努め、引き続き財政健全化対策に取り組めます。

なお、そのほかの歳入はグラフのとおり見込んでいます



No.126 CONTENTS

- 2 【特集】予算
- 8 森の京都のシンボルへ 京都丹波高原国定公園
- 10 職員の配置
- 14 介護予防・日常生活支援総合事業がスタート
- 16 Dr's Message いきいき健康術
- 17 **FLASH** KYOTAMBA TOWN NEWS 2016

- 公共工事の重要性を学ぶ
—教育と土木のコラボ事業
- みんなで使えるものを
—竹野小卒業制作
- 地域医療について語る
—地域包括医療講演会
- 食への思いを語る
—観光シンポジウム
- 生産拡大に向け協議
—「丹波くり」生産振興協議会
- 災害に備え訓練
—土砂災害住民避難訓練
- おめでとうございます
—スポーツ賞・文化賞
- 新たな道へ進む
—卒業式・卒園式
- まちのたからに贈る
—ぬく森のイス贈呈

一般会計 歳出 [性質別]

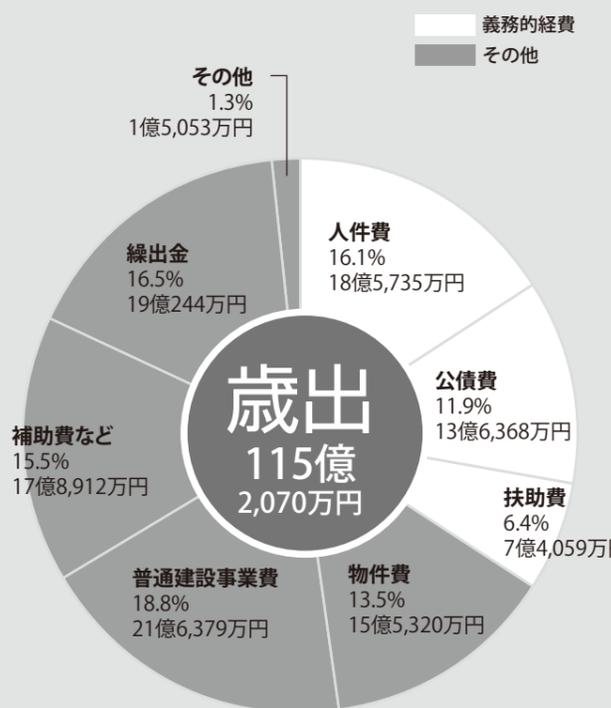
のうち、人件費や扶助費（医療費助成などの経費）、公債費（町債の返済金）は「義務的経費」といわれ、

支出が義務付けられています。本年度は、この義務的経費が歳出全体の約三四・三％（対前年比〇・七ポイント減。グラフ参照）となり、一億七五〇万円減少しました。しかしながら、依然として町の財政は硬直化した状況にあります。項目別に見ると、人件費は十八億五、七三五万円を計上し、前年度に比べて一、三四九万円の増額。今後とも特別職給与や管理職手当の減額、時間外勤務手当の抑制、職員の定員適正化などに努めていきます。

公債費については十三億六、三六八万円（元金十二億八八二万円、利子一億五、四八七万円）を計上。引き続き地方債残高の抑制に努めるとともに、交付税に算入される有利な地方債の活用など財政健全化に向けた対策を講じます。

また、物件費は、事務経費や光熱水費などの縮減に取り組んでいますが、実施事業量の増加などにより前年度に比べ八、七〇〇万円の増額を見込んでいます。

なお、事業内容の詳細は次ページのとおりです。



【一般会計】主な使いみち

115億円をこう使う

ごみ処理対策事業……………246万円
船井郡衛生管理組合に関する経費……………2億9,735万円
水道事業特別会計繰出金……………6億3,960万円

農林水産業費 14億2,463万円

農業委員会の運営など……………1,272万円
農業総務費(職員の給与など)……………6,538万円
中山間地域等直接支払事業……………1億1,199万円
水田農業構造改革対策助成事業……………2,716万円
農業公社運営補助……………2,730万円
多面的機能支払交付金事業……………9,859万円
京都・丹波食彩の工房管理運営……………960万円
瑞穂マスターズ施設管理運営委託……………142万円
有害鳥獣対策事業……………7,405万円
後継者育成事業……………467万円
京力農場プラン事業……………944万円
明日のむら人移住促進事業……………570万円
新明日の「京都村」づくり事業……………100万円
その他農業振興に関する経費……………8,497万円
畜産競争力強化整備事業……………3,815万円
鳥インフルエンザ発生農場跡地活用事業……………7,058万円
畜産振興に関する経費……………935万円
農地保全事業……………1,212万円
下水道事業特別会計繰出金……………2億2,432万円
(農業集落排水事業)
土地改良施設維持管理事業……………3,000万円
その他農地保全などに関する経費……………2,254万円
山村開発センターの管理運営……………807万円
情報センターの管理運営……………2億6,370万円
(職員給与など含む)
新山村振興等農林漁業特別対策事業……………4万円
林業総務費(職員給与など)……………3,839万円
公有林整備事業……………2,733万円
森林整備地域活動支援事業……………243万円
森林管理道開設事業……………8,713万円
(和知地区坂原―西河内)
木のぬくもり活用推進事業……………563万円
新要適正管理森林等災害予防事業……………70万円
その他林業振興に関する経費……………4,482万円
林業センターの管理運営……………366万円
内水面漁業振興対策事業……………170万円

心身障害者医療事業……………6,003万円
自立支援医療給付事業……………2,371万円
障害者自立支援事業……………3億5,883万円
地域生活支援事業……………4,813万円
その他障害者福祉に関する経費……………823万円
老人医療事業……………3,358万円
シルバー人材センター事業……………703万円
介護保険特別会計繰出金……………4億284万円
在宅高齢者等生活支援事業……………2,554万円
府後期高齢者医療広域連合事務事業……………2億8,957万円
地域包括ケアシステム推進事業……………85万円
介護予防安心住まい推進事業……………80万円
その他老人福祉に関する経費……………938万円
国民年金事務に関する経費……………86万円
すこやか子育て医療費助成事業……………2,104万円
京都子育て支援医療助成事業……………676万円
すこやか子育て祝金事業……………800万円
児童手当支給事業……………1億6,413万円
新高校生等医療費助成事業……………363万円
障害児通所給付費等事業……………1,124万円
その他子育て支援に関する経費……………2,461万円
母子父子家庭医療事業など……………1,059万円
子育て支援センター事業……………315万円
保育所の運営管理(職員給与など含む)……………3億3,273万円
災害見舞金支給事業……………10万円

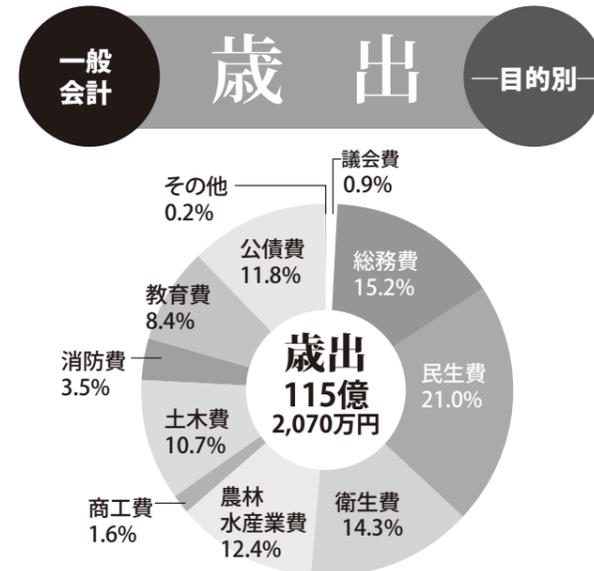
衛生費 16億5,016万円

保健衛生総務費(職員給与など)……………1億1,761万円
母子保健・健康増進事業……………2,295万円
特定健康診査等事業……………1,819万円
後期高齢者健康診査事業……………822万円
その他保健事業に関する経費……………4,760万円
予防接種事業……………3,863万円
合併浄化槽設置整備事業……………543万円
下水道事業特別会計繰出金……………5,502万円
(浄化槽市町村整備推進事業)
新エネルギー導入促進事業……………361万円
その他環境衛生に関する経費……………1,511万円
南丹病院組合負担金……………1,643万円
京丹波町病院事業運営補助金……………3億3,740万円
医師確保奨学金・医療等審議会事業など……………563万円
保健センター管理事業……………1,891万円

その他総合企画に関する経費……………992万円
支所の管理に関する経費……………1億6,595万円
(支所管理、職員給与など)
公平委員会事業……………6万円
街灯設置補助金・防犯協会負担金など……………373万円
グリーンランドみずほ管理運営事業……………2,093万円
駅を守る会事業(和知駅振興委託料など)……………1,227万円
町営バス運行事業特別会計繰出金……………7,346万円
町営バス利用促進助成……………216万円
交通対策に関する経費……………1,168万円
(交通安全啓発や交通指導員活動、放置車両対策など)
自治振興補助金事業……………60万円
地域おこし協力隊設置事業……………653万円
地域交流等拠点整備事業……………2億444万円
若者定住促進宅地購入補助……………500万円
協働のまちづくり・地域支援事業など……………2,292万円
ホームページ・行政情報システムの運用管理……………4,750万円
友好町交流推進事業……………140万円
国際交流推進事業……………334万円
人権啓発・男女共同参画推進など……………964万円
森林(もり)の文化創造事業……………246万円
地域資源活用推進事業……………2億9,640万円
京都地方税機構負担金……………1,407万円
税務に関する経費(職員給与など含む)……………9,412万円
戸籍住民基本台帳管理に関する経費……………3,158万円
(職員給与など含む)
選挙管理委員会・選挙啓発事業……………69万円
参議院議員通常選挙執行事業……………1,606万円
各種統計調査に関する経費(経済センサスなど)……………81万円
監査委員会事業……………60万円

民生費 24億1,551万円

国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金……………1億7,605万円
地域福祉計画策定事業……………329万円
新見守りネットワーク事業……………390万円
新年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業……………1,179万円
新簡素な給付措置給付金給付事業……………2,377万円
社会福祉総務に関する経費……………2億8,752万円
(民生児童委員活動事業や職員給与など)
和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託……………80万円
共同作業所入所訓練事業……………2,392万円
重度心身障害老人健康管理事業……………2,912万円



議会費 9,874万円

議会運営に関する経費……………9,874万円
(議員報酬や職員給与など含む)

総務費 17億4,768万円

新新ふるさと応援寄付金事業……………4,305万円
その他一般管理に関する経費……………4億7,484万円
(区長会運営や電子入札、職員研修、職員給与など)
広報京丹波(おしらせ版含む)の発行など……………561万円
例規集管理事業……………409万円
新新庁舎整備事業……………3,988万円
その他財政・会計・財産管理に関する経費……………1億340万円
(町有財産・庁舎管理、基金積立事業など)
総合計画等策定事業……………734万円
森の京都推進事業……………1,116万円



現在の京丹波町役場。平成32年度末までの建設を目指します(蒲生)

特別会計当初予算の概要

商工費	1億8,262万円
商工総務費(職員給与など)……………	4,746万円
企業誘致対策事業……………	684万円
新起業・新産業育成事業……………	150万円
買い物弱者対策事業……………	515万円
商工業振興に関する経費……………	3,239万円
(消費生活行政や融資保証料補給事業など)	
質志鐘乳洞公園の管理運営……………	1,124万円
特産館「和」、わち山野草の森管理運営委託…	2,300万円
農林業体験公園管理委託……………	120万円
ウッディパルわち管理事業……………	130万円
京丹波味夢の里管理運営事業……………	1,730万円
京丹波まるごと交流型観光推進事業……………	1,869万円
その他観光振興に関する経費……………	1,655万円

土木費	12億3,193万円
土木総務費(職員給与など含む)……………	9,068万円
道路台帳整備事業……………	232万円
交通安全施設設置事業……………	550万円
道路橋りょうの維持管理など……………	6,224万円
道路新設改良事業……………	7億4,084万円
河川維持管理事業……………	3,290万円
ダム関連対策事業……………	656万円
都市・国土利用計画に関する経費……………	16万円
都市公園施設管理事業……………	616万円
下水道事業特別会計繰出金……………	2億5,185万円
(公共下水道事業)	
町営住宅維持管理事業……………	1,839万円
木造住宅耐震診断・改修事業……………	235万円
住宅改修補助金交付事業……………	800万円
地域再建被災者住宅等支援補助金交付事業…	100万円
地域住宅計画事業……………	300万円

消防費	4億708万円
京都中部広域消防組合負担金……………	2億7,271万円
消防団活動運営事業……………	7,755万円
消防施設の維持管理……………	1,171万円
消防操法訓練大会事業……………	473万円
消防施設整備事業(防火水槽設置など)……	1,798万円
その他消防防災に関する経費……………	197万円
防災事業(防災備蓄備品購入など)……………	498万円
防災行政無線維持管理事業(同報系・移動系)・	800万円
自主防災組織育成事業……………	100万円
公民館等集会所耐震化事業……………	510万円
災害対策に関する経費……………	135万円

教育費	9億7,335万円
教育委員活動事業……………	120万円
学童保育事業……………	1,415万円
京都府トレセン等を活用した体力・競技力向上事業	69万円
教育委員会事務局一般経費……………	1億5,622万円
(職員給与や学校指導主事設置など)	
育英資金給付事業特別会計繰出金……………	264万円
小学校の管理に関する経費……………	3億3,911万円
(職員給与など含む)	
小学校学習支援教員等配置事業……………	1,555万円
その他小学校教育振興に関する経費……………	2,823万円
中学校の管理に関する経費……………	5,125万円
(職員給与など)	
中学校・須知高校連携研究事業……………	23万円
中学校教育振興に関する経費……………	7,166万円
(中学生国際交流、スクールバス運行など)	
幼稚園の管理運営に関する経費……………	6,773万円
(職員給与など含む)	
京丹波「森のまなび」推進事業……………	34万円
社会教育振興に関する経費……………	1,494万円
(社会教育団体育成や成人式開催など)	
公民館管理運営、図書館活動など……………	4,145万円
文化財保護に関する経費……………	392万円
社会体育振興に関する経費……………	870万円
(生涯スポーツ振興や体育団体育成など)	
体育施設の維持管理に関する経費……………	1,628万円
学校給食事業(職員給与など含む)……	1億3,906万円

※1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が合わない場合があります。
※新規事業には「新」をつけています。

国民健康保険事業

歳入のうち、自主財源である国民健康保険税は三億三、一〇七万円。主な歳出は、保険給付費に十四億四、七四九万円、後期高齢者支援金に二億二、九七九万円、特定健診などの保健事業費に三、九二二万円を計上しています。

後期高齢者医療

後期高齢者医療制度を運営する京都府後期高齢者医療広域連合の算定に基づく保険料を徴収し、納付するための予算を計上しています。

歳入のうち、自主財源である保険料は一億三、七〇二万円。主な歳出は、同広域連合への納付金に二億一、一九〇万円、人間ドック助成事業に一、三七七万円を計上しています。

介護保険事業

事業勘定の歳入のうち、自主財源である保険料は四億一、〇五九万円。主な歳出は、保険給付費に二億二、一〇九万円、地域支援事業費に五、四〇四万円を計上しています。

また、サービス事業勘定では地域包括支援センターを拠点に介護予防支援事業を推進するための予算を計上し、老健施設サービス勘定では和知診療所二階に設置している老健施設の運営や入所サービスの提供などを行う予算を見込んでいます。

水道事業

歳入のうち、使用料は四億九、九六五万円。主な

歳出は、下水道事業に四億一、一三三万円、簡易水道事業に二億二、二〇五万円、公債費の償還に六億七、八九四万円を計上しています。

なお、統合簡易水道整備事業は、丹波・瑞穂地区で九〇・三％、和知地区で八四・五％の進捗よく二十七年度末を見込んでいます。

下水道事業

歳入のうち、使用料は二億五、五九九万円。主な歳出は、農業集落排水費に二億二、三七一万円、公共下水道費に二億三、六八五万円、浄化槽市町村整備推進施設費に二億五、八四四万円を計上しています。

町営バス運行事業

児童・生徒の通学や町民の交通手段確保のための町営バス運行に要する費用を計上しています。

土地取得

基金の運用による利子分を計上しています。

育英資金給付事業

育英資金の目的に基づいた給付金の支給経費を計上しています。

国保京丹波町病院事業

京丹波町病院 質美診療所、和知診療所、和知歯科診療所の経費を一括して計上しています。

収益的収入では、入院や外来などの医業収益と

して、京丹波町病院に八億六、三五〇万円、和知診療所に一億二、二六〇万円、和知歯科診療所に七、七四〇万円を計上。一方、収益的支出における医業費用として、全体で九億九、八八二万円を計上しています。

※いずれも一万円未満は四捨五入。

会計別一覧

会計名	本年度	前年度	比較
一般会計	115億2,070万円	116億400万円	△8,330万円
特別会計・企業会計	93億2,260万円	87億9,416万円	5億2,844万円
国民健康保険事業	23億2,060万円	22億5,900万円	6,160万円
後期高齢者医療	2億1,778万円	2億2,325万円	△547万円
介護保険事業(事業勘定)	22億681万円	22億20万円	661万円
介護保険事業(サービス事業勘定)	655万円	694万円	△39万円
介護保険事業(老人保健施設サービス勘定)	1億7,287万円	1億7,710万円	△423万円
水道事業	18億3,120万円	16億2,000万円	2億1,120万円
下水道事業	9億5,270万円	9億5,700万円	△430万円
町営バス運行事業	9,891万円	1億1,573万円	△1,682万円
土地取得	17万円	20万円	△3万円
育英資金給付事業	530万円	470万円	60万円
国保京丹波町病院事業	15億973万円	12億3,004万円	2億7,969万円

※各会計の金額は、1万円未満を四捨五入しているため、合計額とは合いません。



平成28年度予算について審議する平成28年3月議会の予算特別委員会(役場議場・蒲生)

↑森の京都のシンボルへ 京都丹波高原 国定公園



式辞を述べる山田知事
寺尾町長も主催者として参列



主催者らによって除幕されたモニュメント

式典には、山田啓二京都府知事をはじめ、環境省や京都府関係市町から約二百人が参加。本町からは、寺尾豊爾町長や議会代表、林業関係者、地元区長などが参加しました。

式典で山田知事は、この国定公園について「原生的な自然林が広がる芦生研究林はもとより、日本の原風景ともいえる素晴らしい里山里山の景観、都とのつながりの中で形成された食文化や歴史などが息づくこの地域は、人々の営みと自然が共生する全国的にもユニークな公園。(今回)の指定は、今後この環境をどのように保全・活用し、引き継いで



各市町議員の代表などが参加

京都丹波高原国定公園 について知ろう

今回、指定された「京都丹波高原国定公園」。この公園は、本町をはじめ、京都市、綾部市、南丹市に位置する六万八、八五二haという広大な国定公園です。

公園内の由良川と桂川の上中流地域は、原生的な自然が今も残り、希少な動植物の生息地でもあります。また、自然とのつながりの中で培われてきたかやぶき屋根の民家が多数残る集落など、世代を越え受け継がれてきた歴史にふれることができる地域です。

さらに、京都の市街地に近接しており、公園内を京の都と日本海をつなぐ多くの街道が走っていることから、自然と文化が融合した全国的にも珍しい国定公園です。

本町では、国定公園に長老ヶ岳周辺の仏主と上乙見地内の山林など六八八haが「京丹波エリア」とし



仏主地内にある「七色の木」



山頂へと続く登山道。長老ヶ岳には高山植物も自生しています

て含まれています。

この「京丹波エリア」では、長老ヶ岳と一体となった森林景観が見られます。近畿自然歩道など自然景観や歴史文化を味わうことができるルートも設定されており、長老山森林公園は、長老ヶ岳登山の拠点のひとつとして利用されています。

公園内は、第一種から第三種特別地域と普通地域の四つの区分により構成されていますが、「京丹波エリア」は、現在の景観を極力維持する必要のある第一種特別地域として長老ヶ岳山頂周辺が指定され、残りの地域は通常の農林業などが原則容認される第三種地域に指定されています。

「森の京都博」を開催

京都府では、昨年度から「もうひとつの京都」キャンペーンとして府内を「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」という三つのエリアに分け、さまざまな取組みが進められています。

本町が位置する「森の京都」エリアでは、今年、十月に開催される全国育樹祭をメインイベントとした「森の京都博」が開催されます。

町内でも関連イベントが開催されています。森の息吹を感じに参加してみたいかがでしょう。

森の京都博開催イベント(京丹波町分)

丹波ちびっこまつり

開催日 五月五日

場所 丹波自然運動公園

京丹波森のぶるぶ

開催日 五月五日

場所 須知高等学校校林「ウイードの森」

黒豆ロックフェスティバル

開催日 五月二十九日

場所 グリーンランドみずほ

あっぱれたんぼ田植えイベント

開催日 五月二十九日

場所 丹波自然運動公園付近

※掲載イベントは一例です。このほかにも多くのイベントが開催されます。



長老ヶ岳山頂からの眺望。豊かな自然の中に集落が点在しています

京丹波町情報センター

京丹波町和田田中15番地1

企画政策課情報推進室

☎88-5000

- 情報化、情報化施策の企画推進、情報センターの管理など

【室長】保田利和
【主任】野々口慶司・田畑昭彦・西村公貴

太田周人・野口雄祐・村山裕信

国保京丹波町病院

京丹波町和田天下28番地

医療政策課

☎86-0220

- 病院・診療所・介護療養型老人保健施設、総合医療政策、南丹病院組合など

【課長】藤田正則
【課長補佐】中川 豊
【医療係長】村山英紀

国保京丹波町病院

☎86-0220

- 外来診療、入院診療、居宅介護支援、訪問看護、訪問リハビリ、地域連携など

【院長】前田武昌
【副院長】垣田秀治
【事務長】(藤田正則)
【看護師長(総括)】平田千春
【看護師長】林 真紀
【診療部長】(垣田秀治)
【外科部長】(庄林 智)
【事務長補佐】(中川 豊)
【看護主任(副師長)】小川和代
【事務主任】水間和美
【看護主任】大西正美・西山由里・片山比佐子・田路利恵
【理学療法士主任】森本勝則

【内科医師】福井勇人(新規採用)
【事務員】片山利枝

【出納係長】上西貴幸

大森しおり

中央公民館

京丹波町蒲生野口38番地

教育委員会社会教育課丹波分室

☎82-0988

- 丹波地域の社会教育、人権教育、社会体育、文化財、文化芸術、図書室など

松谷洋二

瑞穂保健福祉センター

京丹波町和田田中6番地1

保健福祉課

☎86-1800

- 保健一般、健診、伝染病予防その他疾病、保健指導など
- 福祉一般、救護養護、保護、高齢者福祉、障害者福祉、母子・児童福祉など
- 介護保険一般、介護保険給付、介護認定、介護保険料など

【課長】大西義弘

【課長補佐】山鳥 強・井上祐子・上原美智子・永海貴子・岡本明美・豊嶋浩史

【健康推進係長】藤田むつみ

【健康推進係主任】堀 道枝

【福祉係長】芦谷真由美

【介護保険係長】(岡本明美)

【包括支援センター主任】島田恵子

西村明美・片山 哲・坂本美佳子・高見謙佑・山口紗也香・一瀬紳司

【栄養士】上林小百合

【保健師】

西村美智子・保田智子・中川早苗・保ヶ部直子・蓮見純子・中 淑子・三田杏奈

【農林振興係主任】宇野浩史・小山 潤・吉田 聡
【農林事業係長】井上晴之
【農林事業係主任】荻野雅則

森田 亮・坂本憲吾・辻 裕・下村邦喜(林野庁へ派遣)

農業委員会事務局

【事務局長】増谷隆男

【事務局主任】山内智美

(森田 亮)

商工観光課

☎82-3809

- 商工業、観光、鉱業、労働行政など
- 企業の立地推進、町有地などの利活用など

【課長】山森英二

【課長補佐】原澤 恒

【商工観光係長】(原澤 恒)

【企業立地推進係長】山下 稔

木上祐輔・西村紗矢香(経済産業省へ派遣)

土木建築課

☎82-3806

- 土木管理、建設、用地買収、国土利用計画、都市計画など
- 土木一般、入札、道路・橋りょう、土木災害復旧など
- 建築、町営住宅など
- ダム、ダム周辺整備、公園緑地、河川・砂防など

【課長】山内和浩

【課長補佐】保田志信・藤井雅文

【管理係長】山内敏史

【土木係長】秋山卓弘

【建築係長】小松聖人

井上和宏・奥田康平・奥野武志・片山義章・門 大輔

会計室

☎82-3804

- 出納、指定金融機関、資金、物品会計など

【会計管理者】下伊豆かおり

【室長】中野竜二

■地域資源活用推進室

【室長】(堀 友輔)

税務課

☎82-3802

- 税務一般、住民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、特別土地保有税、固定資産評価審査委員会など
- 納税、滞納整理など

【課長】松山征義

【課長補佐】石田美穂・中井伸幸

【賦課係長】大西孝治

【徴収係長】長谷川真

【主任】島 文子(地方税機構へ派遣)
・石田武史(地方税機構へ派遣)

福本糸み子・千田 司(新規採用)
中澤紘士(地方税機構へ派遣)

住民課

☎82-3803

- 住民、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、公的個人認証、災害救助、行旅死病人、児童手当など、
- 国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療、国民年金など、
- 環境衛生、船井郡衛生管理組合、環境保全、埋火墓地など
- 人権一般、住民相談、消費生活など

【課長】長澤 誠

【課長補佐】山田和志

【戸籍住民係長】吉田敦美

【戸籍住民係主任】藤井知宝

【保険年金係長】山内明宏

【環境推進係長】山本桂市

【人権推進係長】谷口玲子

堀 孝子・金江美和・豊嶋裕美・正田志帆・松浦由香・瀬戸亜弓・田中博典(船井郡衛生管理組合へ派遣)

農林振興課

☎82-3808

- 経済、農業、林業、畜産業、農業委員会など、
- 農林業土木一般、農道、ため池、かんがい排水、林道、治山、農林災害復旧など

【課長】栗林英治

【課長補佐】片山 健

【農林振興係長】橋本賢二



Kyotamba Town

職員の配置

4月1日付け、人事異動を行い、職員の配置は次のとおりになりました。
(囑託職員など除く、敬称略)

■新庁舎建設室

【主任】中村昭夫

大秦 学

監理課

☎82-3811

- 入札資格、審査および決定、指名委員会、入札執行、工事請負・業務委託および物品などの契約、その他契約業務全般など
- 建設事業等監視委員会、公共事業再評価委員会、土木・建築工事などの検査・指導、その他公共事業の適正執行など

【課長】木南哲也

【総務契約係長】(木南哲也)

【指導検査係長】竹村 洋

井上慎也

企画政策課

☎82-3801

- 企画、陳情・請願など、
- 広報、広聴、統計、交流事業など、
- 地域づくり、住民自治、町政要望など
- 交通一般、町営バス、交通安全など
- 地域資源活用

【課長】久木寿一

【主幹】石崎宣彦(林野庁から派遣)

【課長補佐】小谷誠之・田中晋雄

【企画係長】(田中晋雄)

【交通対策係長】(小谷誠之)

【広報広聴係長】(小谷誠之)

片山晴子・徳島一輝(新規採用)
伊林賢二(北海道下川町から派遣)・伊東拓馬(北海道下川町へ派遣)

■地域支援室

【室長】堀 友輔

【主任】(田中晋雄)

京丹波町役場本庁

京丹波町蒲生八ツ谷62番地6

代表☎82-0200

議会事務局

☎82-3805

- 調査研究、渉外、定例会、臨時会、委員会など、
- 議会一般、議案、監査委員など

【事務局長】堂本光浩

【課長補佐】西野菜保子

【庶務係長】(西野菜保子)

山口知哉

【参事】伴田邦雄(総務福祉担当)
山田洋之(事業担当)

総務課

☎82-3800

- 総務一般、法規、行政運営、選挙(選挙管理委員会)、
- 公用車運行管理など
- 人事、秘書、任免、給与、研修、福利厚生、職員団体、公平委員会など
- 財務一般、予算・決算(一般会計)、起債町有財産の管理など
- 消防・防災、防犯、住民安全など

【課長】中尾達也

【課長補佐】原澤 洋

【総務係長】小林篤史

【人事秘書係長】山内善史

【人事秘書係主任】松下由美

【財政係長】上原康宏

井口理恵・川勝千裕・岡本みずき・野口尊正・渊上菜央

■危機管理室

【室長】北村和正

【主任】正田智久

隅田和樹

わちエンジェル ☎84-1920

- 乳幼児保育、子育て支援センターなど

【所長】東 直美

【主任】下村秀美

【保育士】

野口加代里・小室由紀・大秦優子・梅原彰子・三嶋夏波

須知幼稚園 ☎82-0151

- 幼児教育など

【園長】西村喜代美

【教頭】浦井美紀

【主任】小林和子・堀 敬之

【教諭など】

新庄美和子・池田直未・

越浦宏美(養護教諭)

小中学校

- 学校用務など

【蒲生野中学校】和田 隆

給食センター

- 町内小・中学校の給食調理など

【センター長】(竹内 健)

【瑞穂給食センター】小林富美子

学校・保育園など

上豊田保育所 ☎82-2056

- 乳幼児保育、子育て支援センターなど

【所長】真野照美

【主任】湊 玲奈・山内里佳子

【保育士など】

森 こず枝・越川憲子・加藤亜希子・

谷 麻美・中西靖浩・伴田絵理・

小森由佳梨・山内 咲・

西村紗楽(新規採用)

小西愛紀(養護教諭)・

野口朝美(管理栄養士)

■下山分園 ☎83-0004

【園長】(真野照美)

【主任】(山内里佳子)

【保育士】田畑美穂

みずほ保育所 ☎86-0574

- 乳幼児保育、子育て支援センターなど

【所長】野村雅浩

【所長補佐】北村恵里子

【主任】細見ルミ

【保育士】

久保元恵子・蒲生沙奈美・松村春成・

鳥羽敬子・西川早紀(新規採用)

和知診療所

京丹波町本庄今福5番地

和知診療所(介護療養型老人保健施設)

☎84-1112

- 外来診療、訪問看護、訪問リハビリなど
- 長期入所、短期入所など

【所長】庄林 智

【事務長】一谷 寛

【看護師長】石田由美子

【事務主任】十倉克也

【看護主任】伏原幸子・貞守京子

【理学療法士(主任)】大田有次

友金輝幸

【看護師】

大西初美・中村幸子・竹内秀子・

小寺恵美・野村厚子・滝波美由紀

【介護支援専門員】安藝俊郎

和知歯科診療所

京丹波町本庄今福11番地3

和知歯科診療所 ☎84-1154

- 外来診療、訪問診療など

【所長】舟木 健

【事務長】(一谷 寛)

【事務長補佐】山口秀子

【歯科医師】三浦博人

【歯科衛生士】片山昭子

退職職員

3月31日付
敬称略。()は前職

中尾裕之
(教育委員会事務局教育次長兼学校教育課長)
谷口 誠(会計管理者)
仲村 司
(国保京丹波町病院和知診療所副所長兼介護療養型老人保健施設副施設長)
上林潤子
(教育委員会事務局学校教育課学校教育係主任)
角谷慶人
(国保京丹波町病院内科医師)
諫本慶春
(国保京丹波町病院和知診療所診療放射線技師兼介護療養型老人保健施設診療放射線技師)
水口さき子
(教育委員会事務局丹波中学校給食センター調理員)
澁井章子(みずほ保育所保育士)

保健福祉課和知地域保健福祉室

☎84-0049

- 和知地域の健康増進、福祉および介護保険など(詳細は保健福祉課を参照)

【室長】光枝三千代

谷口いづみ

教育委員会

京丹波町本庄ウエ16番地

教育委員会 ☎84-0028

- 教育一般、教育施設、教職員人事、幼稚園など、情報教育、放課後児童健全育成など
- 学校教育、学校保健など
- 社会教育、人権教育、社会体育など
- 文化財、文化芸術、図書室など

【次長(参事)】川島勇人

■学校教育課

【課長】(川島勇人)

【課長補佐】竹内 健・徳島康善

【総務係長】(徳島康善)

【学校教育係長】原田結城

四方妃佐子・山本美子・
細野江梨子

■認定こども園建設推進室

【室長】(徳島康善)

【主任】山内圭司

■社会教育課

【課長】山根美智代
(兼B&G海洋センター所長)

【課長補佐】木下浩昭

【文化財係長】(木下浩昭)

【社会教育係長】小原直也

原澤美和・山下 泰・久保元真一・
川野雅夫

【上水道係長(事業担当)】山下 徹

【上水道係長(庶務担当)】高屋敦彦

【上水道係主任(庶務担当)】西山直人

【下水道係長(事業担当)】岩崎勝也

【下水道係長(庶務担当)】野間 隆

吉田和晃・西山宏明・

片山加奈・小崎亮太

瑞穂支所

京丹波町橋爪桧山49番地

瑞穂支所 代表☎86-0150

- 総務一般、戸籍住民一般、税務一般、土木一般、農林一般、商工観光一般など

【支所長】山内善博

【支所長補佐】上林太志

【主任】塩田 誠・梅原千里

今川奈未・桐村杏菜・

岡本 淳(地域支援担当)・

伴田裕章(地域支援担当)・

軽尾圭造(危機管理担当)

教育委員会社会教育課瑞穂分室

☎86-1150

- 瑞穂地域の社会教育、人権教育、社会体育、文化財、文化芸術、図書室など

(川野雅夫)

和知支所

京丹波町本庄ウエ16番地

和知支所 代表☎84-0200

- 総務一般、戸籍住民一般、税務一般、土木一般、農林一般、商工観光一般など

【支所長】榎川 諭

【支所長補佐】永武幸子

【主任】四方晴美・村田弘之

山西博美・村山奈央・

藤田健吾(新規採用)

山内秀文(地域支援担当)・

出野文隆(危機管理担当)

【看護師】

白波瀬小百合・上田ひとみ・

山田加奈恵・大西好美・新宮さちよ・

谷掛郁代・竹内美弥・能勢真由美・

谷口紀久恵・稲元左希子・中村育美・

村上永里子・吉田恵理子・北村友美・

山本真紀・高屋里美・猪田満枝・田中

美由紀・梶本由美子・井尻友美・

橋本樹里

【診療放射線技師】山内敏行・

津村泰宏(新規採用)

【薬剤師】熊谷 明

【理学療法士】井爪直美・伊藤正幸

【管理栄養士】藤ノ井公代

健康管理センター

京丹波町須知鍋倉1番地1

子育て支援課 ☎82-1394

- 子育て支援・保育所など

【課長】津田知美

【課長補佐】樹山敬子

【支援係長】並河直樹

荒木美由紀

【作業療法士】石原詩子

保健福祉課丹波地域保健福祉室

☎82-1800

- 丹波地域の健康増進、福祉および介護保険など(詳細は保健福祉課を参照)

【室長】上西睦美

小池由加里

畑川浄水場

京丹波町下山クラベシ41番地

水道課 ☎83-9105

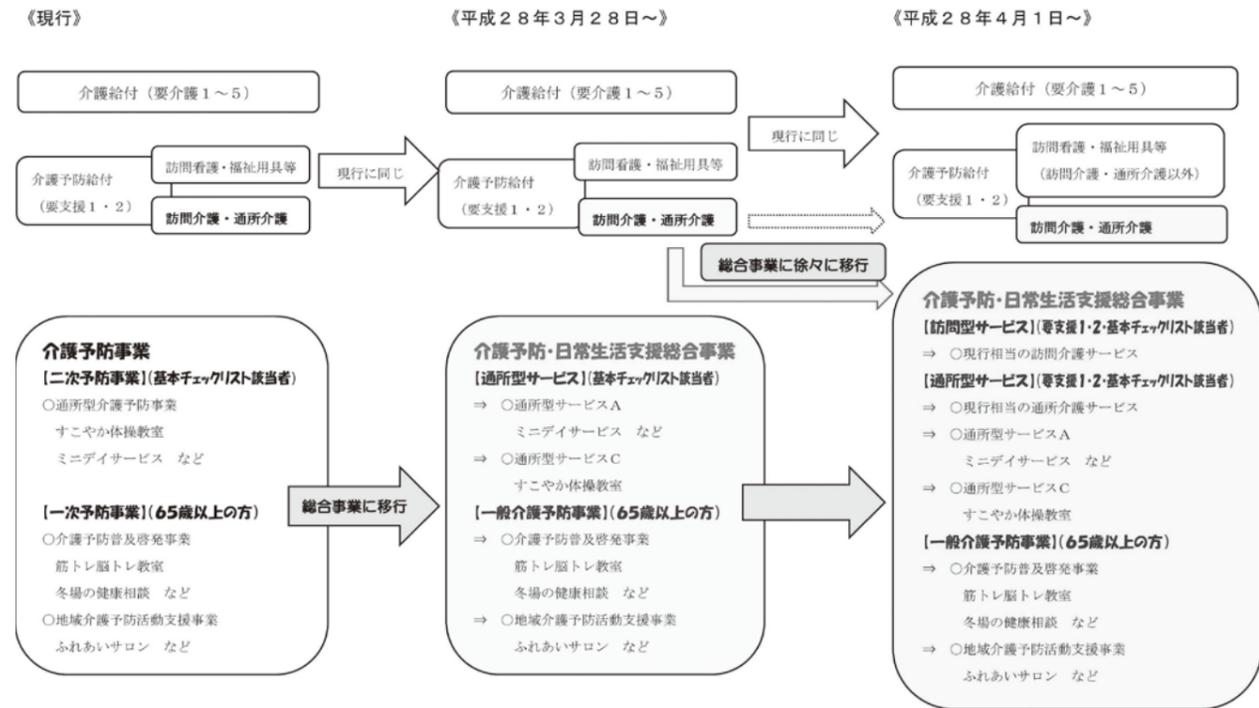
- 上水道、簡易水道など
- 公共下水道、集落排水、合併処理浄化槽など

【課長】十倉隆英

【課長補佐】八木敏和・堀内浩二

介護予防・日常生活支援総合事業がスタート

図1 サービスの種類



高齢者を取り巻く状況は、少子高齢化や核家族化により、ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が増加し、多くの面で社会の支えが必要となっています。

今後、さらに支援を必要とする人が増加すると見込まれる中、高齢者の皆さんが、支援が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活を営むことができる社会が求められています。そのため、地域全体で高齢者を支える仕組みを作っていくとともに、高齢者の皆さんにも自らの能力を最大限に生かして、できるだけ要介護状態になることを予防していただくことが大切となります。

この高齢者を支える仕組みとして、介護保険制度に「介護予防・日常生活支援総合事業」(以下「総合事業」)が創設されました。

総合事業は、六十五歳以上の全ての人を対象とした介護予防事業です。介護保険の認定を受けていなくても、一人ひとりの生活に合わせて柔軟なサービスを利用することができます。

また、これまで介護保険の要支援1または2の認定を受けている人を対象とした訪問介護(ホームヘルプサービス)と通所介護(デイサービス)は、総合事業の介護予防

事業や生活支援サービスに位置づけ、町の事業として実施します。本町では、これまで実施してきた事業を継承しながら、利用者のニーズや状況に応じて、段階的に開始することとしました。

総合事業の利用対象者

- 基本チェックリスト(※)により生活機能の低下がみられ、対象者と判断される人
- 総合事業開始後に新規で要支援認定を受ける人
- 総合事業開始後に更新により要支援認定を受ける人

※「基本チェックリスト」とは、国が定める、運動機能や栄養状態などを確認するための質問票です。町の保健師などが、二十五項目にわたる身体状況などについて聞き取りを行います。

総合事業は段階的に開始

【第一段階】

平成二十八年三月二十八日、

これまで、六十五歳以上の人を対象に実施してきた介護予防事業を総合事業に移行しました。(図1) 介護予防事業のうち、基本チェックリスト(※)に該当された人が対象となる二次予防事業の通所型介護予防事業(ミニデイサービスなど)は、「通所型サービス」として総合

総合事業の実施の背景

総合事業が創設された背景には、全国的な少子高齢化の進行に伴い、支え手となる若年層人口が減少傾向となるなど、現在の介護サービスの提供体制を維持することが難しくなっている現状があります。そのような中、高齢者の皆さんがいよいよ豊かな生活が送れるよう、多様な支援のあり方が求められています。

① 高齢化の進行などに伴うニーズの多様化

要介護認定者数は、平成二十二年の介護保険制度開始以降、増加し続けています。一般的に七十五歳以上の高齢期の到達とともに、

自分らしく地域で暮らし続けるためには、一人ひとりが健康保持に努めるとともに、地域や家庭の中で何らかの役割を担いながら生活することが「介護予防」にもつながります。地域の誰もが参加できる、身近な場所での「体操教室」や「サロン」など、町民の皆さんの主体的な介護予防活動の立ち上げや運営について幅広く応援します。

③ 多様な主体による多様なサービスの創設

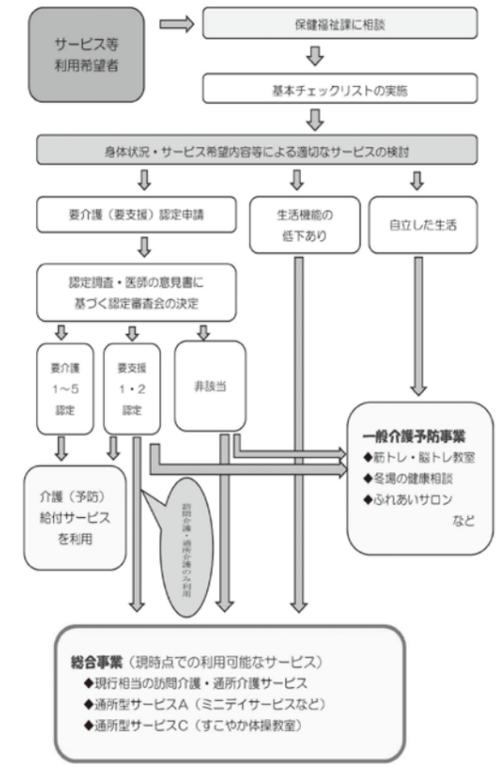
介護保険サービスなどの公的なサービスでは対応しきれない高齢者の皆さんのちよつとした困りごとにも対応できるよう、高齢者を含めた幅広い世代の地域の皆さんや民間企業、各種団体などのさまざまな活動を支援しながら、多くの支え手による生活支援体制の仕組みづくりに取り組みます。

総合事業を利用するには

心身機能の低下など日常生活で困ったことがあるときは、町保健福祉課にご相談ください。

心身や生活の状況によっては、基本チェックリストによる確認で、サービスや支援を受けたり地域のことの場に参加したりすることができます。(図2)

図2 利用の流れ



事業に移行しました。

【第二段階】

平成二十八年四月一日、

要支援1と2の人を対象とする訪問介護と通所介護は、「現行相当サービス」として総合事業に移行しました。現在の認定期間が満了し、認定の更新結果が要支援1または2に該当された場合は順次、総合事業に移行となります。現在利用しているサービスは、引き続き利用できます。

総合事業の目指すもの

① 高齢者のニーズに応じた介護予防の推進

これまで、介護予防事業を利用している人が、要支援認定を受けた場合、それまで利用していた介護予防事業は利用できませんでしたが、総合事業を開始することで、要支援認定を受けた人も、介護予防事業を利用することが可能となり、また、介護予防事業利用者が、要支援認定を受けて介護予防給付の住宅改修などを利用することが可能となります。

自分らしく地域で暮らし続けるためには、一人ひとりが健康保持に努めるとともに、地域や家庭の中で何らかの役割を担いながら生活することが「介護予防」にもつながります。地域の誰もが参加できる、身近な場所での「体操教室」や「サロン」など、町民の皆さんの主体的な介護予防活動の立ち上げや運営について幅広く応援します。

③ 多様な主体による多様なサービスの創設

介護保険サービスなどの公的なサービスでは対応しきれない高齢者の皆さんのちよつとした困りごとにも対応できるよう、高齢者を含めた幅広い世代の地域の皆さんや民間企業、各種団体などのさまざまな活動を支援しながら、多くの支え手による生活支援体制の仕組みづくりに取り組みます。

総合事業を利用するには

心身機能の低下など日常生活で困ったことがあるときは、町保健福祉課にご相談ください。

心身や生活の状況によっては、基本チェックリストによる確認で、サービスや支援を受けたり地域のことの場に参加したりすることができます。(図2)

いきいき健康術 第104回

『運動で認知症予防!?!』

このコーナーは、町立病院診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は、国保京丹波町病院の垣田秀治副院長。日頃からの運動と認知症に関するお話です。

春になり、外に出る機会が増える季節となりました。体を動かすことは、肥満予防、糖尿病予防などあらゆる生活習慣病予防に効果があるといわれています。認知症は、脳にアミロイドβやタウタンパク質が蓄積することにより発症しますが、それらのタンパク質は、二十〜三十年をかけて徐々に蓄積し、七十歳ごろになって認知症として発症します。ですから、それらが蓄積を始める四十歳ごろからの認知症予防が大切になってきます。

運動をすることは、実は脳に酸素をたくさん供給するだけでなく、筋肉を刺激して体内の成長ホルモンの増加も促します。その成長ホルモンが、記憶の中枢といわれる脳の海馬での脳由来神経栄養因子を刺激することにより、海馬でのアミロイドβやタウタンパクの蓄積を予防していくことが実証されています。

また、今年アメリカで新しい発表もありました。日常に運動をしている人たちと、あまり運動しない人たちの群を比較したところ、脳の委縮の程度に有意な差があり、運動をしている人たちが委縮の程度が少ない、ということでした。

認知症は、脳の委縮と関係していますから、この結果からも運動することが脳の委縮を予防し、さらには認知症も予防する、と結論づけています。



内科医師 垣田 秀治 先生(京丹波町病院)

一日三十分〜二時間くらいの軽めの運動を週三回以上継続して行うことが効果的といわれています。「運動して体も頭も元気でいきましょう」とは昔からいわれていますが、実はちゃんと科学的にも実証されているのです。

さあ、暖かな春の日差しの下、体を動かして元気な体を作っていきましょう。

お知らせ

京丹波町病院では、毎週木曜日の午後二時から三時まで小児科の予防接種を実施しています。

☎86-02220

公共工事の重要性を学ぶ

■教育と土木のコラボ事業

瑞穂小学校で三月四日、公共土木工事について学ぶ「教育と土木のコラボ事業」が行われました。同校の六年生が、道路などに架かる橋について学びました。

この事業は、小学生に公共施設役割や重要性などについて理解を深めてもらうために府南丹土木事務所が行っているものです。

児童らは、府南丹土木事務所

企画調整室の塩見寛之室長らから橋の構造などの説明を聞いた後、中台地内で行われている一般府道松山須知線天下橋歩道橋新設工事を見学しました。

児童らは、一部の児童の通学路となる歩道橋が架けられる様子を見学しました。

今回見学した歩道橋は、この日までに児童らで名称を検討。「瑞穂煌美安橋」と名づけられました。



歩道橋新設工事を見学する児童(中台)

みんなで使えるものを

■竹野小卒業制作

平成二十七年度に竹野小を卒業した児童五人と竹野地区の住民らが、三月十八日と十九日に卒業制作としてパン窯作りを取り組みました。

同校では、卒業の記念に制作するものを検討していた際に、同地区で活動する竹野活性化委員会(中西和之代表)から学校の活動や地域との活動で活

用できるパン窯制作の提案があったことから取り組むこととなりました。

三月十八日の作業では、生徒らが、作業に慣れた住民などの指導を受けながら、ひとつずつレンガを積み上げていきました。

卒業生の一人、中村颯真君は「在校生や地域の人々に楽しく使ってほしい」と話していました。



地域住民とパン窯を作る卒業生(竹野小・大朴)

地域医療について語る

■地域包括医療講演会

和知ふれあいセンターで三月十二日、地域包括医療講演会を開催。町民など約三百五十人が参加しました。

この講演会は、医療をより身近に感じてもらう機会として作っているもので、福井県おおい町にある国保名田庄診療所の所長を務める中村伸一先生が、これまで二十一年間に渡って同診療所で取り組んできた在宅医療などについて講演しました。

中村先生は、自らが関わった末期がんの患者などが、最期を迎えるまでに取ったさまざまな選択に寄り添った事例などを紹介。その取り組みについて「医学・医療にはガイドラインがあるが、人生にガイドラインはない。だから寄り添っている」と、自らの考えを語りました。

患者に寄り添う医療について話す中村先生(和知ふれあいセンター・本庄)

食への思いを語る

■観光シンポジウム

町観光協会(岩田恵一会長)主催の観光シンポジウムが三月十六日、道の駅「和」道路情報センターで行われました。

シンポジウムでは、「京丹波の食の魅力と可能性」をテーマにパネリストが「和」道内で行われ、町内で特産品の生産や加工、販売に関わる五人のパネリストが、それぞれの取組みに対する思いなどを話しました。

パネリストの一人、有限会社長老の代表取締役である寺井渉さんは、今年、一〇〇%京丹波町産の米を使って日本酒を作っていることを紹介。以前から全て町内産の米を使って酒を作りたい思いを持っており、地元の消防団活動を通じて知り合った縁で実現したことを報告しました。寺井さんは「品評会などで」金賞を狙うより、京丹波の人の口に合う酒を作りたい」と、自身の酒作りに対する思いを話していました。



参加者に、思いを話すパネリストら(道の駅「和」道路情報センター・坂原)

生産拡大に向け協議

■「丹波くり」生産振興協議会

町では、特産「丹波くり」の振興を目指し京丹波町「丹波くり」生産振興協議会を設置。第一回会合を三月八日、京丹波町役場で開催しました。

会合には、委員として丹波くりの生産者や京都府、JAなどから十二人が参加。寺尾豊爾町長から委嘱状が交付された後、会長にJA京都丹波くり部会の部長などを務める山内善継さん

(市場)を、副会長に谷正義さん(丹波農園)を選出しました。事務局から他府県での取り組みの紹介などが行われた後の意見交換では、委員から京都府・JAでも同時期に丹波くりの振興に向けて取組みが始まることなどが報告。生産農家からは、今回の協議会設置について「長年くり栽培にかかわってきたが、府・JA、町がともに立ち上がったのは初めてではないか。うまく進めば日本一の組織になるかもしれない」と



寺尾町長から委嘱状を受け取る委員(京丹波町役場・蒲生)

期待の意見が出されていました。協議会では、今後、定期的な会議のほか、栽培技術などを広めるための広報紙の発行を予定しています。

おめでとうございます

■スポーツ賞・文化賞

平成二十七年年度に文化・スポーツの分野で活躍した個人・団体やこれまでに各分野の振興に貢献した個人・団体を表彰する京丹波町スポーツ賞と文化賞の表彰式を、三月十九日に山村開発センターみずほで行いました。

授賞式では、家族や関係者が見守る中、受賞者に表彰状が授与されました。受賞者は次の皆さんです。(敬称略。かつこ内は、受賞当時の所属など)



各賞を受賞された皆さん(山村開発センターみずほ・大朴)

【スポーツ賞】

■特別栄誉賞(個人)

平田有真(須知高/ホッケー) 的場斐那(同)

山本淳貴(蒲生野中/ホッケー)

■功労賞(個人)

津田勝二(町スポーツ推進委員会) 田中敏夫(同) 東 清子(同) 久保克敏(蒲生野中/ホッケー) 森田江里(瑞穂中/ホッケー)

松村 誠(蒲生野中/ホッケー) 野々村守(須知高/ホッケー)

■優秀賞(個人)

西 愛奈(綾部高/カヌー) 堀真由香(同) 上田大賀(同)

梅原佐公(同) 岡本洋子(町グラウンド・ゴルフ協会/グラウンド・ゴルフ)

西田土龍(B&G和知ジュニアカヌークラブ/カヌー)

和田恵美(同)

西 虹彩(同)

梅原三和(同)

堀 奏羽(同)

大西風璃(同)

森川孝誠(京丹波空手道クラブ)

森川 葵(同)

森川拓海(同)

スポーツ少年団・空手)

スポーツ少年団・空手)

スポーツ少年団・空手)

柿木七海(同)

徳岡丈翔(同)

■優秀賞(団体)

須知高等学校女子ホッケー部(ホッケー) 瑞穂中学校ホッケー男子部(ホッケー) 京都府ゲートボール連合会京丹波支部(ゲートボール)

■スポーツ奨励賞

ゴンターズ高原スポーツ少年団

【文化賞】

■文化賞(個人)

湊 敏(安来節保存会/安来節)

石橋 裕(陶芸)

■文化功労賞(個人)

阪本久枝(みずほ句歌会)

西保正夫(同)

大田幸作(和知人形浄瑠璃会)

村上 薫(丹波八坂太鼓保存会)

■文化功労賞(団体)

創作粘土サークルコスモス

■輝き賞(個人)

磯部瑞基(下山小)

上田夏鈴(園部高)

辻 海渡(園部高附属中)

吉田実央(瑞穂中)

長谷川天星(瑞穂中)

榎木菜月(和知中)

野間駿平(和知中)

土佐恒生(瑞穂中)

川崎佑梨乃(園部高附属中)

災害に備え訓練

■土砂災害住民避難訓練

町と町消防団では、三月六日に水呑区と猪鼻区の住民を対象に土砂災害住民避難訓練を実施しました。

この訓練は、近年、全国的に発生している集中豪雨による土砂災害を想定し、有事の際の避難方法や情報伝達体制を確認するために実施しました。

住民らは、大雨による避難準備情報や避難勧告の告知放送により声を掛け合いながら各地区の公民館へ集合後、避難所である三ノ宮体育館へ避難しました。

避難訓練に参加した津田さんの(水呑)は、「参加できてよかった。災害に備えて訓練をしてもらえるのはありがたいことです」と参加した感想を話していました。



消防団員の誘導により避難する住民(三ノ宮体育館・三ノ宮)

徳岡もも(丹波ひかり小)

村山魁政(蒲生野中)

■輝き賞(団体)

須知高等学校農業クラブ

ご寄附ありがとうございました

ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)を、次の方からいただきました。ありがとうございました。(申し出順。掲載内容は、寄附者の申し出にもとづくもの)

- 鶴野 孝一さん 一万円
- 古高 佑季さん 一万円
- 片山 山治さん 十万円

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	9,607,678円
復興支援募金	7,001,497円

*平成28年3月31日現在

わたしたちの町

人口	15,078(-94)
男	7,136(-42)
女	7,943(-52)
世帯数	6,372(+4)
4月1日現在/()は前月比	

新 たな道へ進む

■卒業式・卒園式

町内の小中学校・保育所・幼稚園の卒業式などが行われました。卒業生らは、卒業証書などを手



卒業証書を受け取る卒業生(蒲生野中・蒲生)



卒業式で慣れ親しんだ校歌を歌う卒業生(和知小・本庄)



卒園の歌を歌う卒園児(みずほ保育所・和田)

に、通い続けた校舎を後にしました。

町内五小学校では三月二十三日に卒業式が行われ、百十八人が六年間の小学校生活を終え、義務教育最後の三年間となる中

学校へ進学しました。このうち、二十五人が卒業した和知小学校では、野口博之校長が卒業生に対して卒業証書を手渡した後、「皆さんが受け取った卒業証書には、六年間の頑張りや家族の愛情、地域の皆さんのぬくもりがこもっています。和知小で学んだことを胸にしっかりとばたいてください」と卒業生にエールを送りました。

このほか町内の中学校では、三月十一日に百十八人が義務教育九年間の課程を修了したほか、三月十八日には須知幼稚園で二十二人、三月二十五日には三保育所で六十三人が、小学校入学に向け巣立ちました。

ま ちのたからに贈る

■ぬく森のイス贈呈

ぬく森のイスをもらう子どもたち(瑞穂保健福祉センター・和田)



町では、平成二十七年成度中に町内で生まれた赤ちゃんに対し、京丹波ぬく森のイスの贈呈をスタート。三月

二十二日には、瑞穂保健福祉センターで一回目の贈呈を行いました。

ぬく森のイスは、町内産のヒノキを使用し、町民の皆さんなど多くの人の手で制作されたもので、今年度生まれた子どもに贈呈するものとして約八十脚を制作。この日は、寺尾豊爾町長から乳児後期健診に訪れた六人の赤ちゃんにイスが手渡されま

した。受け取った子どもたちは、早速興味津々な様子でイスに手をかけていました。

今回イスを受け取った谷口凛和ちゃん(本庄)の母友香さんは「とてもうれしい。大事にして大きくなくても使っていつてほしい」と話していました。

ぬく森のイスは、今後、順次贈呈していく予定です。

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチヨウ



【町の花】
つつじ



編集後記

このたびの人事異動により総務課に配属となりました。広報担当としての4年間には、府立林業大学の開校に始まり、友好町北海道下川町との友好交流協定締結、畑川ダムの完成と町水道への通水開始、瑞穂学校給食センターの完成による町内全ての小・中学校での給食開始など、京丹波町のまちづくりが着実に進むすがたを取材させていただくことができました。

さらに、昨年には、京都縦貫自動車道の新線開通とともに、町の合併10周年という節目にも立ち会わせていただくこともできました。

これらの経験とともに、多くの町民の皆さんにお会いし、取材させていただいたことは、何物にもかえがたいものと思っています。

本当にありがとうございました。来月号から担当する新しい編集子につきましてもよろしくお願ひします。(T)